

令和2年度（2020年度）行政評価シート【個表】

令和 2 年 8 月 17 日

評価対象事業		評価者	下水道河川課担当課長 野中 宗範
都整-33	重点事業	持続型下水道幹線再整備事業(下水道事業会計)	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務
			主管課 下水道河川課 関連課
総合計画上の位置付け	分野	下水道・河川	施策の方針 下水道の整備・管理

1 事業の目的

対象	市民等
意図	既存の下水道幹線を高深度化する。
効果	地震・津波等の自然災害に強い下水道を整備する。

2 令和元年度(2019年度)に実施した事業の概要

・新ポンプ場候補地である市有地2箇所について、管理者と協議・調整を行った。

3 事業費等基礎データ

データ区分	30年度(2018年度)決算	01年度(2019年度)決算	データ区分	02年度(2020年度)当初予算	備考
人口等のデータ	人口	176,308人	人口		・各年3月31日 (住民基本台帳)
	世帯数	81,763世帯	世帯数		
	事業の対象者数			事業の対象者数	
運営資源状況	決算値(千円)	71,856	0	当初予算(千円)	
	国県支出金	26,900	0	国県支出金	
	地方債		0	地方債	
	その他		0	その他	
	一般財源	44,956	0	一般財源	
	人員配置数	1.0	1.0	人員配置数	
事業経費運営	人件費(千円)	7,908	7,980	人件費(千円)	0
	総事業費(千円)	79,764	7,980	総事業費(千円)	
	市民1人当りの経費(円)	452	0	市民1人当りの経費(円)	
	対象者1人当りの経費(円)		0	対象者1人当りの経費(円)	

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、ブルダウンドで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	2. 増大している
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいか	3. 廃止・休止による影響は大きくある
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいか	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	○.負担導入済 ○-1. 既に受益者負担を求めているが、今後、その額や対象等を再検討する必要がある
		△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施
		協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒ <input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他	見直しの内容	
	<input checked="" type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒				下水道
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	第4期基本計画実施計画において下水道事業会計に係る予算については、公営企業会計に移行したことからすべての事業を「下水道事業」に統合した。		

総評(評価に対する考え方、根拠等)	・下水道は市民生活に欠くことのできない重要なインフラの一つであり、老朽化対策や大規模な地震時でも下水道の有すべき機能を維持するための対策は重要となっている。本事業は、鎌倉処理区の幹線管渠の老朽化対策と地震・津波対策を併せて実施するもので妥当性は大きいものである。 ・今後、調査、設計、施設整備へと移行するため、予算を拡大する必要がある。
-------------------	---

令和元年度(2019年度)事業実施にあつた課題 (前年度未解決の事項を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度に実施した七里ガ浜浄化センター用地における新ポンプ場設置の検討では、設置することが可能との結果であったが、工事期間や騒音等の課題があり、新ポンプ場の位置決定には至らなかった。 新ポンプ場の候補地と考えている他の公有地2箇所は、ポンプ場設置に関する法律等の要件の整理や管理者の協力を得られていないことが課題である。
課題解決のために行った令和元年度(2019年度)の取組	公有地2箇所の新ポンプ場の設置の可能性について管理者と協議・調整を行った。 <div style="float: right;"> <input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決 </div>
未解決の課題、新たな課題とその理由	・新ポンプ場建設については、大規模工事となるため用地の立地条件により経済性や施工性、影響範囲等が明らかになっていない。

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名								
他市実績								
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方								

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	単位	指標の傾向		備考				
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	
	目標値							
	実績値							
	達成率							
指標の内容	位単	指標の傾向		備考				
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	
	目標値							
	実績値							
	達成率							
指標の内容	位単	指標の傾向		備考				
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	
	目標値							
	実績値							
	達成率							